

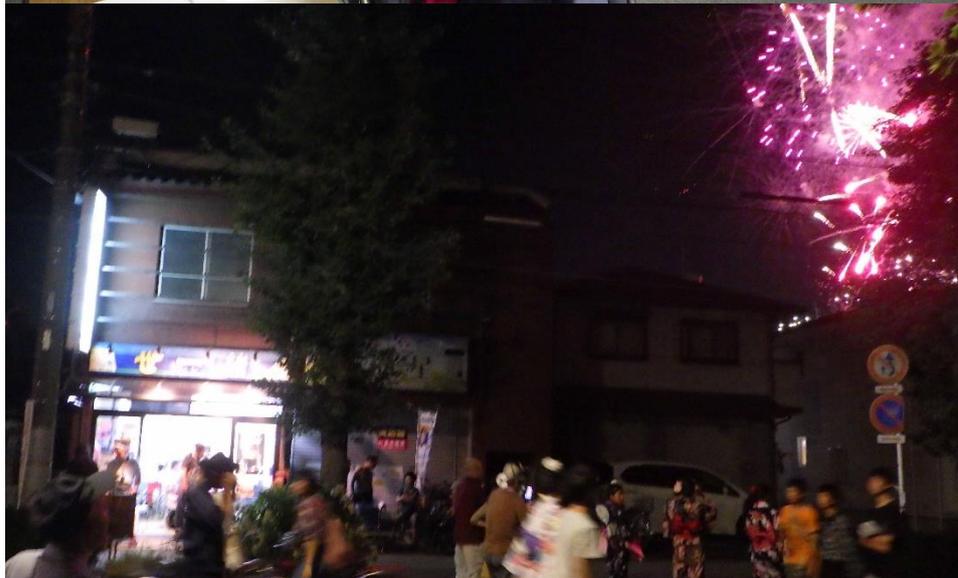
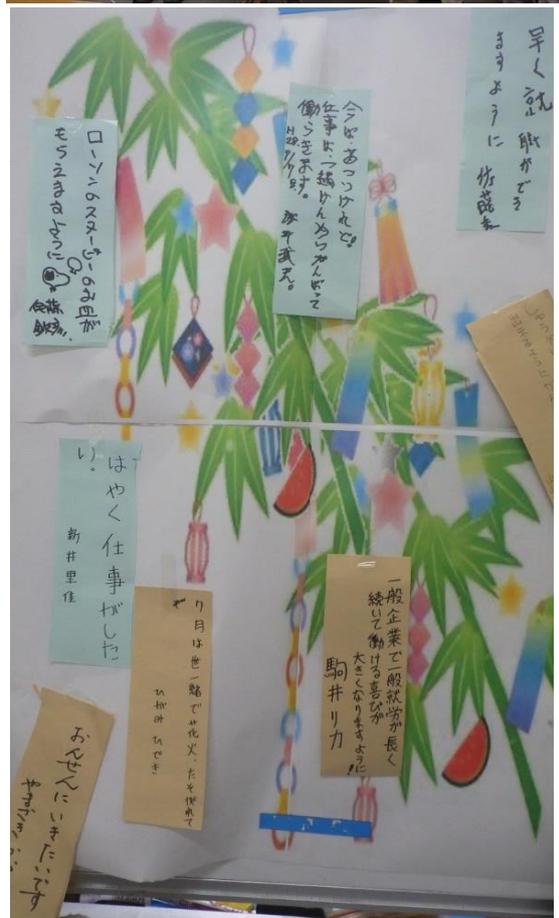
SSTL

NO. 50

2016. 8. 20

職場参加ニュース

生きづらさ・働きづらさを糧に地域・職場で共に



2016年度総会・シンポジウムは80名の多彩な方々にお集まりいただき、盛況のうちに終わりました。7月から「たそがれ世一緒」もスタート。花火大会夜店は就労中の人等20人を含め40名余が集まりました。8月に入り、「世一緒NOW」を創刊。これまで世一緒のグループワークにエントリーした170人に発送、地域・職場のつながりを模索中です。

総会記念シンポジウム報告

なぜいま「働く障害者等のたそがれ社会参加スペース」なのか

6月12日の定期総会の後、80数名が参加して記念シンポジウムを行いました。就労支援センター受託終了後1年間、それまでの就労準備中の人中心の世一緒から、離職者やひきこもりの人、生保受給中の人、そして就労後の地域生活を探る人…さまざまな「働く」をめぐるライフスタイルが会い、かかわり合う世一緒になってきました。その新たな人と人のつながりを、さらに広げ、深めるために、7月からたそがれ時のフリースペース「たそがれ世一緒」をオープン。シンポジウムはその中身を考えるために開きました。



朝日 (コーディネーター)

夕暮れ、仕事が終わった後の、そういう時間を大事にしていきたい。そんな時こそ、社会参加の重要なポイントだと。会場のみなさんには『こんな職場参加をすすめる会』にしたい(なってほしい)」というアンケートをお配りした。休憩時に回収し、後半ご紹介しながらパネルディスカッションを進めていく。その前に、世一緒のファシリテーターの日吉さんから問題提起をしていただいた後、パネリストのみなさんからお話しいただく。



日吉 (世一緒ファシリテーター)

世一緒は障害者が当番を務め、本人ペアによる仕事発見ミッションやグループワークをやってきた。センター受託終了とこれまでの人の就労などで、就労準備者は減ったが、そのぶん就労者やひきこもりの人を含め新たなつながりが増した。そこでこの7月から会社や施設から家に帰る途中で立ち寄れる「たそがれ世一緒」を開く。そこでは地域で他人の手を借りて自立生活している重度障害者が近所の知人の手を借りて、ホスト役を務める。



尾谷 (ニューオタニ社長)

春日部市で靴加工の会社をしている。社員は知的障害者4人、高齢者4人。みな年金があるからなんとかやれる。社員たちと障害者でソフトボールのチームを作り、地域の行事にも積極参加。障害者雇用の制度は働いている障害者には役に立たず一般のものづくりの補助金が役立った。一昨年から地域向けに「題名のない音楽会」を開いている。20年間続けたい。たそがれはあと20年後ですね。



科野 (就労継続A型「あかり」施設長)

就労継続A型2ヶ所で44名の利用者がおり、12市町から通っている。毎日4つか5つの仕事が同時進行している。A型は仕事しながら一般就労の訓練をするところ。最低賃金を得られることが他の施設とちがう。来ればもらえるのではなく、仕事することでもらえる。それが刺激になり目の前が開かれる人もいる。世一緒のように仕事帰りに交流できる場があるのはいい。私も一度見学したい。



大野 (三郷市就労支援センター就労支援員)

就労支援センターの相談者にはひきこもりの人や高齢者もいる。それぞれの専用窓口でなく、総合的にとらえ、本人も区分にとらわれず生きてゆく相談につながればと思う。センターはフォーマルな場でインフォーマルなものに手を付けにくいのが、双方を使い分け、人として育ててゆくことが大きな力になると思う。すすめる会、世一緒はいろいろな人と出会う場所だと思うので、私が気づくようなひらめきのある場所に。



若林 (春日部市生活支援センターえん支援員)

えんの相談者で世一緒の活動に参加している石丸さんと話す。働くことで病状が重くなった。A型事業所に行ったが3日目で朝起きられなくなり辞めた。世一緒で自分の話をしたり、他の人の話を聞いたりした。その中でまた動きがあり、近所のリサイクルショップ店主が病気の話を聞いて雇ってく

れるようになったという。それから生き生きして、働きに行く前にえんに立ち寄っていた。でもうまくいなくてやめた。多様な就労の場はできたが、同時に、地域の商業施設などにもっと障害のある人の姿が見られることが大事だと思う。これからも相談者や活動を通して行き来をさせてもらえればと。



石丸(春日部市在住)

世一緒では水上公園の作業にも参加した。発病して12年。リサイクルショップで働けるようになり、うれしかった。最初は週に5時間ぐらいでちょうどよかった。だんだん残業が増え、残業代がもらえず現物支給だったので、おかしいんじゃないかと思った。2ヶ月ぐらい働いたが、そういうのが続くと疲れてしまうので辞めた。障害者とか健常者関係なく仲間としてしゃべっていきたいと思う。



幡本(越谷市在住)

幼稚園ぐらいから自分が周りとうちと違うと感じるようになり、自分の中に入り込み状況を理解できず、周りを怒らせたりした。成績で周りの子と競うのも嫌で、家で暴れた。申し訳なかった。学校を卒業しわらじの会で介助で働き、そこでも周りを怒らせたりしたが楽しかった。現在はマウスコンピューターで段ボールを作ったり、緩衝材を作ったりちぎったりする仕事。時折嫌なことを思い出してパニックになったりするが、そんなに嫌な思いをすることがなくなりありがたい。職場の人には感謝している。すすめる会、世一緒は、障害を持った方も働いて充実感や喜びを味わえる場であってほしい。



山崎(会場から・当会運営委員)

世一緒は統一の何かを持っているわけではなく、障害者も親の立場もいるし、関係ない人もいたりして、その人たちが支援する人、される人という区分けではなく、ふらっといる。わたしは年数の分だけ人生経験がある、そのたそがれた分だけちょっと偉そうにしてみたりするが逆なこともある。世一緒の良さは誰が来てもいいという、もちろん頭にきて怒ったり、いいことばかりじゃないが、自然の集まり。



角屋(コメンテーター・越谷市障害福祉課副課長)

自立支援法で就労系がサービスに位置づけられ、本来は障害者が10人いれば10通りの暮らしがあるはずだが、そのサービスでやりきれない所に着目したところがさすが。越谷市をまるまる「地域」としてとらえるのではなく、居住を中心とした生活圏、自分の住んでいる地域にいる障害者について気にするようになれば。それから差別解消法による分断のテーマ、合理的配慮の提供ができないので障害者と接すること自体を避ける人が出てくるのではないかと。こういう法律がいなくなる社会にしていく必要がある。



成塚(会場から・春日部市障害福祉課長)

今年度から現職に。若林さんのお話もあったが、自立支援協議会が活発に動いているので、そういう所と情報交換させていただきながら進めていきたいと思っている、今日のお話も参考になりました。



児玉(三郷市障害者就労支援センター所長)

今年度から移動になりまだ勉強中。三郷市の中でなかなか地域のネットワークが構築しづらい。朝日先生の力を借りながらやっていきたい。

朝日(コメンテーター)

ありがとうございました。テーマに、支える、支え合うとあるが、支えがなくて働ける人はいない。たそがれ世一緒で代表されるインフォーマルな場。ピア、障害の有無だけでなく仕事をして行く上での辛さ、それが何の理由でもピアになりうる広がり、職場と異なる居場所が大事という事も感じた。そして、インフォーマルな取り組みがその価値を高めてフォーマルなものになっていく事を参加者の皆さんと共有して終わりたい。



吉田久美子 それでは、議案審議、第1号議案。2015年度事業報告を日吉さんから。

日吉 世一緒の皆さん、出てきてください。マイクを回して。

水島 水島です。4月25日で離職、今活動している。

内藤 アイルビーバックというところで働いています。

駒井 通所施設を辞め世一緒に入り、自分で探して一般企業に勤めた駒井リカです。野菜詰めの作業を頑張っ
てこなしています。12月に入って半年を過ぎたが、会社でも慣れてきて仕事をどんどん数を仕上げるようにこな
しながら、これからも頑張っって続けていこうと思っています。

宗森 公園緑地協会の委託を受けたしらこぼと水上公園の花植えの作業、就労に向けて自分なりに頑張っって行
こうと思っています。

浅井 ニューオタニで働いている浅井です。今日も半日、会社のメンバーと一緒に卓球バレーをしてきた。昨
年は和歌山県の大会、今年は岩手に出場予定です。

野口雅 こんにちは、前は世一緒に通っていて今も時々どよう世一緒に行っています。今はクリナップという
ところで働いています。

佐藤 佐藤秀一です。世一緒に行って、自分でチラシ。

直井 月曜日朝に求人広告チェック会をやっていて、僕はその広告を持ってきていますと。あと仕事発見ミッ
ションにも参加していますとのこと。

野口明 今ピアパートナーとしていろんな仕事をして頑張っっています。

友の 金曜日のスタッフの友ののです。水上公園の仕事があったらエントリーしている人たちに電話かけします。

山崎 わたしは2月16日付で世一緒を退職、就労継続A。

木下 毎週水曜日世一緒で電話取りをやっている木下義彰です。以上です。

新井 木曜日の当番をやっている新井です。火曜日は介助の活動をしています。よろしくお願ひします。

日吉 どうもありがとう。皆さんに現状をお話ししてもらいました。これをもって事業報告にします。

2016年度事業計画(新たに加えられた点や当面の予定)

- 1) 職場参加の基盤形成事業: 仕事帰りの障害者等が立ち寄れる「たそがれ社会参加スペース事業」(7月7日から木曜16:00~19:00開所し、週3日をめざす)
- 2) 福祉施設等の職場参加に関する協力関係形成事業: 障害者だけでなく、困窮者、高齢者、主婦、ひきこもっている若者等の就労困難者及び支援者の団体との協力関係を促進。
- 3) 就労・生活支援のための資料収集と情報提供に関する事業: 世一緒NOW等の発行
- 4) 啓蒙と地域の輪を拓げるための勉強会等を開催する事業: 9月にべんきょう会設定
- 5) 国、自治体に対して施策を提言する事業: 7月11日に越谷市長へ提言。
- 6) 協力事業所の開拓に関する事業: 仕事おこし懇談会 in こしがや、越谷にぎわいの会(水辺の市)への関り、グループワークによる業務請負拡大等を介した事業所開拓も。

職場・地域ひろがり つうしん

鈴木操代表理事の逝去を悼む



当会が任意団体当時から代表を務めてきた鈴木操さんが、6月8日、66歳で亡くなりました。故人の遺志により密葬で送られた。全国的に有名だった越谷養鶏の生産者たちが都市化により地方へ移住してゆく中、(株)㊦鈴木商店社長としてそれらの卵を集め、マクドナルドの月見ハンバーガーの材料として卸すなど、先駆的な事業展開を進めた後、勇退しました。

越谷養鶏の時代は障害のある者も一緒に働いていましたが、支援が充実すると地域の学校、職場から姿が見えなくなってきたことを痛感。差別を避けるのではなく、ぶつかりあいながら地域の職場で共に働く関係を拓けようと、当会設立にあたり代表理事をひきうけ、商工会、法人会、ロータリーなどでも、機会あるごとに啓発を行いました。

当会にとって大きな打撃ですが、遺志を継ぎ、さらに地域・職場を拓いてゆきます。

越谷・高橋市長へ会として提言



7月11日、越谷市高橋努市長へ「共に働く街をまざす提言」を山崎副代表理事から手渡し、意見交換を行いました。立澤福祉部長などの関係部課長等も同席。

提言は昨年暮れにまとめ、草加市、春日部市の両市長には1月の時点で手渡し、懇談を済ませています。越谷は高橋市長の入院加療により、半年遅れとなりました。

当会は6月に定期総会と記念シンポジウムを行い、「たそがれ世一緒」など、働く障害者等の体験交流と共に働く地域ネットワークづくりを進めています。市としては、障害者個人への支援以上に、事業主や同僚・住民が共に働くために支援に力をと提言しました。

今後も継続して意見交換してゆくことを確認しました。

越谷花火大会の夜店が大盛況



越谷花火大会が今年も7月の最終土曜夜に開かれ、世一緒では夜店を開き、光るおもちゃや飲み物を販売しました。世一緒の前は今年も歩行者天国になり、花火見物のお客さんで埋まりました。世一緒では一般企業や就労施設利用中の人を含め、40人余りが参加し、販売と懇親会をにぎやかに行いました。売り上げも4万を超え、大盛況の夏の夜になりました。

「たそがれ世一緒」開始後1ヶ月



当会の新事業・「働く障害者等のたそがれ社会参加スペース」が、7月7日七夕の日に始まり、毎週木曜の16:00~19:00に開かれています。

会社や施設からの帰りがけに立ち寄れるようにと始めたのですが、ホスト役の樋上さんや助手の正木さんの人柄に惹かれて来る人もいます。

ぼつりぼつりと家族や仕事の話をしたり、時にはマジック合戦などもあり、ゆったりしたひとときになっています。第2木曜は、19:00から世一緒 de キネマが開かれるので、通しで参加することも可能です。あなたも来てみませんか。

けられてうれしかったと話していた参加者もいました。

グループワークを拡げました



今年度から2ヶ所の事業所で、駐車場や工場敷地の除草を請け負い、グループワークを拡大しました。世一緒にふだん来られないひきこもり傾向の人や、他に仕事をしていて時々草と向き合うと心が落ち着くという人、生活保護を受給していて今後を模索中の人などが参加しています。

どちらの事業所でも、事業主や従業員のみなさんとの出会いを大事にして、働いています。

このグループワークは、冬に入る前まで、コンスタントにあり、一定の手当も支給されます。外へ出て働くことを考えてゆくきっかけをつかみたい方、どうぞご連絡ください。参加者に応じて、さらに工夫を重ねてゆきます。

プール客のど真ん中で花壇整備



しらこぼと水上公園の花壇整備作業は、やはり当会で年間を通して請け負っていますが、面積が広いので、一斉作業が必要な時は、他の福祉施設や院内デイケアとの共同作業で行っています。また、灌しらこぼと水上公園の花壇整備作業は、やはり当会で年間を通して請け負っていますが、面積が広水は近くの福祉施設2ヶ所をお願いしています。

7月半ばから8月いっぱいプールシーズンは、水上公園のクライマックス。除草一斉作業をした8月5日も大賑わい。猛暑の中で一心に作業しました。

園内清掃をしている作業員が「気が付いたら草を取ってるんだ」と話しかけてきたり、お客さんから、「きれいになったね」、「ごくろうさま」と声をか

総合県交渉「働く」の要望提案



埼玉障害者市民ネットワーク(野島久美子代表)主催の総合県交渉が、今年も8月30、31日に、県庁で開かれます。当会はその要望書の「働く」の分野で、県への要望を提案し盛り込まれました。就労というと障害者個人を能力・適性に応じて支援する面ばかり強調されますが、事業所や就労施設で共に働く基盤整備について県・市町村だからこそできることが多くあります。それをぬきにして、就労系福祉サービス事業所をいくら増やしても、地域の会社・店で共に働く関係は進まず、公費の無駄遣いになってしまいます。

写真は昨年の総合県交渉で、就労A型の経験を語る世一緒スタッフ。今年も当会として、プレゼンを担当します。

水辺まつりを開きました



毎月第2火曜に開いている越谷・水辺の市、8月9日は夏休み中なので「水辺まつり」として、かき氷やゲームなど遊びの要素を盛り込みました。38度の猛暑で客足は伸びませんでした。タンク☆ポップさん(写真)の二回にわたるコンサートなどで盛り上がりました。中央のWakkoさんは、葱クイーンに輝いたとのこと。

水辺の市は、脱サラした人や初めて店を出す主婦たちが、新たに加わっています。



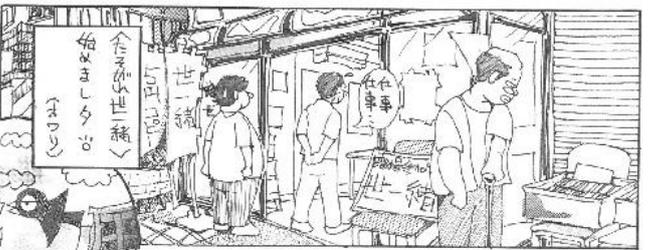
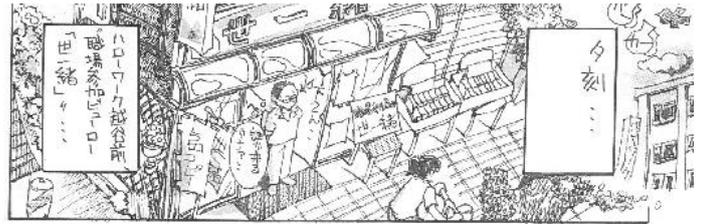
ごあいさつ

みなさん お久しぶりです。ハローワーク越谷の向かいの世一緒です。
このお便りは、前に世一緒に見えた方、「小さな仕事」があればやってみたくて登録していただいたことのある方などに、いまの世一緒の活動をお伝えするために、初めて作りました。
また送ってほしい方も、送ってほしくない方も、ぜひ同封のハガキに記入して、返信いただければありがたいです。



世一緒NOW 職場参加ビューロー世一緒ネット通信 0号
〒343-0023 越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル 世一緒内 048-964-1819 (TEL&FAX)
shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

世一緒グループワークにエントリーしましたー7名にお便りとアンケートを発送しました



第52回 共に働くまちを拓くべんきょう会



9月30日(金)18:30~
越谷市中央市民会館
5階第7会議室
会費:200円(資料代)
誰でも参加できます。
(終了後、時間のある方はファミレスでおしゃべりしましょう)
参加の方は28日(水)までにご一報を!
NPO法人障害者の職場参加を
すすめる会
048-964-1819(fax共)
職場参加ビューロー世一緒

少子高齢化が深まり、これまでの社会保障や自治体の存続が問われる中、障害者就労支援はもとより、生活困窮者やひきこもりの若者など、さまざまな就労支援の施策、機関が急増しています。また、それらの施策、機関を利用する人の数も、増える一方です。
とはいえ、現在のような就労支援のイメージは、たかだか数年、長く見積もっても十数年のことであり、いま常識とされていることも、少し前までは非常識だったのです。
今回お話しいただく沖山さんは、学生時代に在日の人々の就労差別問題を調査・研究し、卒業後は発足間もない身体障害者雇用促進法の下で、障害者就労支援に関り、高齢・障害・求職者雇用支援機構を退職されるまで、ずっと携わってきました。
そして、縁あって越谷市障害者就労支援センターの所長を務められ、現在も都内で、高校中退者の支援の事業に関しておられます。
この四十年をふりかえり、何が変わったのか、変わらないのは何か。誰もが共に働く街づくりへの歩みはどう進んだのか。どう後退したのか。歴史の証人として、沖山さんでなければ語れないお話をいただきます。

話し手
沖山 稚子 さん
(当会運営委員・市就労支援センター元所長)

就労支援—変わったこと・変わらないこと

世一緒 スタッフ日記



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し、よりよく生きるために、世一緒に関わっている人たちを「スタッフ」と呼んでいます。世一緒は専門家が障害者を指導・訓練する場ではありません。現に就労していたり、就労準備中であったり、離職後だったり、立場はさまざまながら、街の中でほかのみんなと一緒に生きてゆく道を探ることが世一緒の事業です。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク、主婦や高齢者が地元の店や事業者と一緒に街にぎわいを創りだすための「水辺の市」の手伝いなどもしています。

チャレンジ雇用から次の職場へ

納谷 大二郎

僕は今、チャレンジ雇用と言う身ですが、越谷のハローワークさんでお世話になってます。
もともと事務職についてきたと言う事もあり、パソコンで文章を作成させて貰ったり、書類整理や荷物運びなど様々な依頼を受けながら働いています。
人助けと言う言葉が好きで僕なので、誰かの役に立つ為にも丁寧にかつ確実にやりこなしています。
中途半端が嫌いなので、依頼されたら喜んで受け、集中力を絶やさず、弱音をはかず取り組んでいます。
仕事があるだけでも有難い事です。
皆さんから、彼いいね〜とか、納谷さんに頼んだら完璧に何でもやってくれるなどお褒めの言葉もあり感謝しています。
この、ハローワークの職場を元に、安定した職場に向けて日々精進し、より良い自分、必要とされる自分へと行って行きたいです。

ここでリセットして復職を

柳沢 宏樹

初めまして、私は柳沢といいます。私のしゅみは、野球観戦と鉄道しゅみでありまして、主に乗り鉄がメインです。
ここに来た理由は、今、就労している会社で心身の不安と体調が悪く、会社側で休んでみてはどうですか?と言われまして、親と支援センターの担当者と相談した結果、1ヶ月休職する事にしました。今までは問題なく仕事はできていたのでリセットできればいいかなと思いません。
今は、時間通りに生活できるよ

うにリズム作りに取り組んでおり、早朝に散歩、なれてきたらジョギングをする予定です。
来月に復職して、自分の課題をクリアしていきたいながら、がんばっていききたいと思います。

デイケアに通っています

発達支援教室のバイトを続けています。「夏期講習、目標〇〇時間!」と会社は利益を出そうと、教室ごとに時間数をランキングで出したりと、必死です。「なんだかなあ」と

木田 東子

いまは順天のデイケアに通っていません。よいしょには暑くてなかなかいけず。今日(8月6日(土))中央公民館に行つたついでに、やっついてるか寄った。

あーよいしょはふるさとみたい。安心する。
デイケアには週3日(月、水、金)と行つてます。暑くてスポーツなんか大変。もう全身真っ黒。★今日でさらに焼いて、真っ赤。
休みの日は、今は夏で暑くてだれています。本を読んだり、音楽を聴いています。本はりんりの本で、心が前向きになっています一冊買いました。なけなしのお金をはたいて。

なんとかこなしています

遠藤 友紀恵

今は、世一緒さんのおかげで、A型作業所の実習も終わり、家庭の手伝いや水上公園の作業をやりながら、生活のリズムを保つ様にしてます。

衣食住でせいっぱい

CAMUS

アパートで一人暮らし。仕事はまだできる段階ではない。探してはいるが、すぐ疲れるのが欠点。衣食住(家事)で精一杯。デイケアに週3〜4回通っている(午前中のみ)。
精神疾患は理解されない(見た目なんともない為)。
生活保護は差別される(なりたくてなったわけではない)。

今は生活のリズムを

石丸 洋介

二〇一六年八月二〇日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第 号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市元郷一・十・十三 頒価二〇〇円

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内(ハローワーク斜向かい)
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

